

高津倉山

1990. 3. 10 (土)

メンバー

晴

馬場 修爾

湯沢高原に登るロープウェイは、三十七人乗りで混雑して長い列ができていた。リフトを乗り継いでも登れるが待つことにする。一時間以上待たされるということだったが、案外はやく三十分待って乗車できた。終点に着きゲレンデを滑り降りて高速四人乗りのリフトで登り更にシングルリフトで大峰の尾根に着いた。

シールを着けて緩い尾根を登行した。天気予報通り快晴で雲一つない日本晴れだ。しばらく登ると大峰山 1172Mに着いた。昨日あたりツアーしたトレースが着いていた。

シールを外し尾根を滑り出す。気温が高く一昨日降った雪が水分をふくんで回転するかに苦勞する。ボーゲンで慎重に回転しシテムクリスチャキを交いいて降る。

途中何年後かにJ.R.が大規模スキー場を造成しているらしく測量のポール、道路が高津倉山の中腹におまわっていて、スキーツアーの注意の建札も立っていた。

柴太郎峠 994Mの鞍部でシールを着ける。右下には、湯沢高原スキー場が左には苗場山、かぐらスキー場の斜面がはっきり見えた。

正面には、これから登る高津倉山がせまっていた。はいわ緩い尾根を登行し急斜面は、キックステップで方向を換い登行し広い尾根におた。単独行の若い人が休んでいた。挨拶を交わし左の尾根に入ると清津峡に迷いこま下

下降点で行動食を食べ休憩した。

右後方には、谷川連峰から大鳥帽子山・巻機山・越後三山、さらに前方には、魚沼の山々遠くに守門岳も眺めることができた。

ブナ林の尾根を滑る。雪が融けて滑り辛い。ホーゲンを使い快調に滑り940M地点の鞍部に着いた。

しばらく階段登行で尾根を登り緩斜面の尾根を登行した。前方の尾根上には、スキーヤーの姿が見えた。

林の中をしばらく滑り降り右に滑りこむと杉林の中に入り平地に出た。

始め来た時は林道は、無かったが林道をシールを着けたまま登り丸山スキー場の最上部に着いた。

あとはスキー場を快調に滑り道路に出た。スキー場の下の方は地味だが景色はよかった。

あとは、道路を歩き今日友達と泊まる民宿五新に着いた。

コースタイム

ロープウェイ 終点 10:40 → リフト 終点 11:00 →

大 峰 11:20 → 栄太郎峠 11:40 →

高津倉山 12:30 → トナイの平 13:30 →

丸山スキー場上部 14:00 → 民宿五新 14:30

ル—ト ㊦

